

# かけはし



発行：峡南教育事務所地域教育支援スタッフ  
 所在地：南巨摩郡富士川町鯉沢771-2  
 TEL：0556-22-8154 FAX：0556-22-8144  
 HPでも御覧になれます。 URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-mk/index.html>

## 山梨ことぶき勸学院創立30周年

### 記念式典・記念講演

#### かけはし146号の誌面

- p1 山梨ことぶき勸学院創立30周年記念式典・記念講演、ことぶき勸学院祭
- p2 連載特集『峡南地域の食材』No.17
- p3 教育フォーラム要旨
- p4 曾根丘陵の地形、峡南地区子育て学習会御案内



高齢者の生涯学習の場である「山梨ことぶき勸学院」が、今年で創立30年目の節目を迎えました。これまでの業績を広く周知し、長寿における生涯学習のあり方について啓発することを目的に、後藤斎県知事をはじめ多くの来賓を招いて記念式典・記念講演が10月20日、コラニー文化ホールで開催されました。守屋守学院長（山梨県教育長）は式辞において、スウェーデンの映画監督であるイングマール・ベルイマンの言葉、「老年は、山登りに似ている。登れば登るほど息切れするが、視野はますます広がる。」を紹介し、その豊富な経験を、社会のため人のために、活かしてほしいと述べられました。



守屋守 学院長

また、創立30周年記念式典に続いて、山梨学院大学サッカー部総監督の横森巧氏を講師にお招きして記念講演が行われました。「ボールと半世紀を語る～高校生年代に魅せられて～」と題し、映像を織り交ぜながら、豊富な実体験を紹介していただきました。数々のエピソードに、参加者は惹きつけられ講演時間もあっという間に過ぎていきました。最後に、「これから、前を向いて進んでいきたい。」と、力強く締めくくっていました。



横森巧 氏

## ことぶき勸学院祭

記念式典等終了後に、第30回山梨ことぶき勸学院祭が開催されました。今年のテーマは「30年 歴史の上に 更なる歩み 勸学院」。山梨県内6教室1・2年生の発表が行われました。峡南2年教室は、「花笠音頭」「長生きサンバ」を集団ダンスで発表しました。ダンスのリズムも息がぴったり合っていて練習の成果が十分に発揮された素晴らしいステージとなりました。また、峡南1年教室は、谷川俊太郎作の詩「生きる」を群読し、続いて「いのちの理由」を合唱しました。



峡南教室2年



峡南教室1年

勸学院祭の成果を通じてともに学ぶ方々の絆を深めるとともに、新たな目標に向けてそれぞれの前向きな取組がまた始まることでしょう。

# ★★連載特集 『峡南地域の食材』No. 17

## 市川三郷町「レインボーレッド」と食改さん



### 【レインボーレッド（キウイフルーツ）】

レインボーレッドはのっぴいの肥沃な土地で栽培した新種のキウイフルーツで全国でも数カ所しか栽培されておらず、出回る時期も短い希少なフルーツです。特徴は果肉の中心部が赤く、糖が高く、完熟すれば糖度20度前後にもなります。ビタミンCが豊富で、キウイフルーツ表面に毛がないのが特徴的です。レインボーレッドは酸味が少なく、甘いのが魅力です。

毎年農協とみたまの湯が協働し、レインボーレッド収穫体験もあるそうです！！

### 【市川三郷町の食改さん】

市川三郷町食生活改善推進委員会は、小林千代子会長を含め95名で活動しています。「健康と食生活について正しい知識と技術をもち、地域の実情をとらえた効果的な活動しよう」「市川三郷町食生活改善推進員の交流を図り、お互いに学び合おう」この2つが活動目標です。長年、町の子育て支援の協力として年4回離乳食教室への参加、年14回の幼児健診では簡単にできる手作りおかし「ほうとうの青のりかりんとう」の配布をしています。親子料理教室では食べ物を選ぶ力、食べ物が分かる力を伝えています。健康づくりに役立つ牛乳・乳製品を使用した男性料理教室、減塩・低栄養予防のための高齢者料理教室も開催しています。地域への伝達講習会で減塩普及に取り組み、各世代に食の大切さと健康づくりを伝える活動をしています。

### 【レインボーレッドを使ったレシピ】

10月11日、三珠健康管理センターで開催しました役員会の際に、レインボーレッドを食材とした調理実習が行われました。そのレシピを御紹介いたします。



#### ●にんじんとキウイの甘酢和え（4人分）

材料⇒・にんじん 100g ・たまねぎ 80g  
・キウイ 1個 ・酢 大さじ2 ・砂糖 大さじ1  
・しょうゆ 小さじ1 ・塩、こしょう 少々

作り方⇒①にんじんは5cm位のせん切りにしゆでる。  
②たまねぎは半分にして薄切りにし、軽くゆでる。  
③キウイは皮をむいて食べやすいいちょう切りか半月にする。  
④酢、砂糖、しょうゆの調味料を合わせ、①、②の水気を軽く切り和える。キウイフルーツも軽く和える。



#### ●キウイジャム（130g）

材料⇒・レインボーレッド 4 ・グラニュー糖 30g  
・レモン汁 1/4個

作り方⇒①レインボーレッドをきれいに洗って皮をむく。  
②ざく切りにし、鍋にグラニュー糖とレインボーレッドを入れて煮る。  
③グラニュー糖が溶け、果肉もトロトロになったらレモンを入れる。  
④水分が飛んでトロトロになってきたら火を止める。  
⑤瓶や密閉容器に入れて完成。



#### ●キウイとリンゴのスムージー（2人分）

材料⇒・レインボーレッド 1個 ・リンゴ 1/4個  
・ヨーグルト（プレーン） 200g ・はちみつ 大さじ1  
・氷 2個

作り方⇒①リンゴは軸と皮を取り除き、ざく切りにする。  
②レインボーレッドは皮をむいてざく切りにする。  
③①、②とヨーグルト、はちみつ、氷をミキサーにいれてかける。



#### ●りんごのにんじんとキウイの食べるジュース（2人分）

材料⇒・リンゴ 1個 ・にんじん 1本 ・レインボーレッド 1個  
・レモン汁 1/2個 ・はちみつ 大さじ1

作り方⇒①材料は皮をむき、ざく切りにする。  
②ミキサーにかけてできあがり。





8月30日に身延町総合文化会館で開催されました、峡南地域教育フォーラムでの要旨を御紹介させていただきます。

「子どもの自立を支える親の関わり -カウンセラーの視点から-」

認定カウンセラー 川邊修作 氏



多くの青少年の相談に共通して言えることは、①対人関係が苦手②気持ちと行動のコントロールが上手くつけられない。数年前のデータだが、16～39歳の若者311万人が働いていないし学んでいない。いわゆる社会で自立出来ていない。

◎子どもの心の育ちについて考える。

- 1) 脳と心の発達⇒人間的ふれあい(昔に比べて減少、メディア漬けも一つの要因)、十分に自由な遊び(親や大人がプログラムした時間にあてはめている)、ほめられること(認めてあげること、OKとNGの使い分け)
- 2) 心の「基礎工事」⇒乳幼児期の重要性・乳児期に「信頼感」・幼児期の前半に「自律性」・幼児期後半に「自主性」の土台をそれぞれ作ることが大事。
- 3) 児童期・思春期のテーマ⇒学童期は社会性、思春期はアイデンティティ・第二性徴・親離れと社会的自立(親は子どもの「心の安全基地」であって、負けるが勝ちで踏み台に)

◎相談活動を通して感じる様々な問題

- 1) 子どもの心の問題⇒対人関係能力・セルフコントロール能力(子どもに考えさせる機会をつくってあげる)
- 2) 保護者の心の問題⇒親のモデルが無い・情報過多社会・価値観など
- 3) 社会環境の問題⇒子ども社会の消失・地域共同体の変貌など

◎子どもたちのために保護者・大人として考えたいこと

- 1) 子どもの「心の安全基地」⇒「過保護」(失敗させない環境にしてしまう)・「過干渉」(親の都合でやりたいことをさせない)・「放任」(相談されても好きにしろと取り合わない)の問題
- 2) 母親・父親の役割⇒「母性」と「父性」を子どもに伝えることの意味
- 3) 子育て支援のあり方⇒信頼感と安心感・身近である・継続性がある
- 4) 子どもたちのモデルとしての大人のあり方

聞き取りやすい声に、豊富な事例、時折ユーモアを交えたお話に、予定されていた講演時間があっという間に過ぎていきました。参加した方々はそれぞれのお立場で、きっとフィードバックしていただけることでしょう。

「地域とともにある学校～内船歌舞伎をとおして～」

南部中学校 望月和彦 教頭先生、井上公彦先生



平成23年度の3校統合により、通学区域が広がり、地域と学校との繋がりが希薄になる。次代の南部町を担う生徒を育てる新たな学校づくりに向け、保護者や地域住民が学校運営に参画できるようにし、学校組織全体の総合力を高めるためにコミュニティ・スクールを導入することになる。

学校教育に対する支援活動例①学習支援…なんぶ未来塾、授業へのゲストティーチャー②安全・健康支援…南部町通学路安全推進会議の取組、地域防災会とともに行うトリアージ訓練への参加③その他の教育活動に対する支援…ふるさと探訪、職業ワイド相談、職場体験学習、福祉施設訪問

コミュニティ・スクール導入の魅力①子ども…学習活動や体験活動の充実、自己肯定感や思いやりの心が育つ、地域の担い手としての自覚が育つ②教職員…地域の人々の理解と協力を得た学校運営、地域人材を活用した教育活動、地域の協力により子どもと向き合う時間の増加③保護者…学校や地域に対する理解が進む、地域で子どもを育てる安心感、保護者同士や地域の方々との人間関係が構築できる④地域の人々…いきがいや自己肯定感の創出、学校が社会的つながり地域のよりどころになる、学校を中心としたネットワークの構築、地域の防犯・防災体制の整備。

内船地区の小中学生の減少にともない、内船歌舞伎保存会から内船歌舞伎の紹介・参加への呼びかけ要請が中学校にあった。昨年、内船歌舞伎保存会の方々の指導と協力のもと、9月に行われた学園祭で1学年の演劇として内船歌舞伎の上演、12月に内船歌舞伎保存会が主催する内船歌舞伎公演に中学生が出演した。

成果としては、演技指導や化粧、衣装など保存会の方々の協力で本格的に行うことができた。地域の方々が学校に出入りする大きな機会となった。地域の伝統文化を学び、地域の人たちとの交流を深めるという点において、大きな意味があった。また、今まで内船歌舞伎を見たことがないという人に対し、見てもらう機会になったので広く地域の伝統文化が町内に知れ渡るきっかけになった。

峡南地域でのコミュニティ・スクールの指定は、南部中学校が初めてということもあって、参加された方々は興味津々でお二方の実践発表に耳を傾けていました。

## 曾根丘陵の地形

曾根丘陵は山梨県の甲州市―笛吹市―甲府市―中央市―市川三郷町のルートで、甲府盆地を北東から南西に連なっています。全長約32kmに及び丘陵です。



国立研究開発法人「産業技術研究所」（茨城県つくば市）が、今年9月より市川三郷町大塚地区（JR身延線甲斐上野駅と東花輪駅間の鞍状の地形）の民有地で、地表から南北方向に約4m掘削を行いました。現場で表れた断面を見ると、約1万年前の地層には鹿児島から飛来した火山灰が数センチに及び堆積し、その上部には笛吹川が氾濫して堆積した緑青色の地層が幅広く横たわっています。

現場に表れた断面を見ると、断層活動で地層の境界が1メートル以上ずれ、波打つように大きく変形した状態が分かります。変形した地層の近くに、断層がほぼ垂直に伸びている状態が確認できます。断層の南東側が北西側に対して相対的に隆起している状況です。

これは今から約1万年前後に活動があったと推定されます。平均活動間隔は、2千年から3千年の可能性があり、今後30年以内の地震発生する確率が1%と、やや高いグループに属しています。



### ☆☆☆ 峡南地区「子育て学習会」の御案内☆☆☆

「心・ふれあう・動きでコミュニケーション～子どもと楽しむ身体表現遊び～」

講師 山梨県立大学 人間福祉学部 人間形成学科 学科長  
教授 高野牧子 先生



※ 山梨県立大学人間福祉学部教授、御専門は舞踊教育学。現在、山梨県わくわく子育て親育ちプログラム講座、および、子育て支援リーダー実力アップ講座の講師を務める。

3歳より、クラシックバレエをはじめ、お茶の水大学・大学院にてモダンダンスを学ぶ。さらに、2003年文部科学省在外派遣研究員として、ロンドンのLABANにてダンス指導法を学ぶ。帰国後は、山梨県内の親子のふれあい遊びを中心にした子育て支援活動に携わる一方で、全国各地において保護者・教員・子育て支援者向けの講演会講師として活躍されている。

【南ブロック】（南部町、身延町、早川町）

◇日時 平成29年1月21日（土）午前10時～（受付 午前9時30分）

◇会場 身延町総合文化会館 2階会議室（身延町波木井407）

【北ブロック】（富士川町、市川三郷町）

◇日時 平成29年1月28日（土）午前10時～（受付 午前9時30分）

◇会場 富士川町鯉沢福祉センター 3階ホール（富士川町鯉沢655-57）

◇参加者 峡南地域の、保育所（園）・幼稚園保護者、保育所（園）・幼稚園職員、町主任児童委員、町保健師、愛育会、地推協関係者、地域住民の皆様。事前の申込みをお願いします。今年度は、親子での参加大歓迎です。

◇申込み 12月22日（木）までに、電話、ファックス、メールにて、担当まで御連絡ください。

◇申込先 山梨県教育庁 峡南教育事務所 地域教育支援担当 石原・田代  
TEL：0556-22-8154 FAX：0556-22-8144  
eメール：[ishihara-pdhy@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:ishihara-pdhy@pref.yamanashi.lg.jp)（石原）